

3

民保の特定の保障機能を持つ 生命保険や特約の加入状況

民保の特定の保障機能を持つ生命保険や特約とは

(1) 医療保険・医療特約

病気やケガで入院したり所定の手術を受けたときに給付金が受け取れる生命保険または特約であり、損害保険は含まれない。

(2) ガン保険・ガン特約

ガンで入院したときに入院給付金が受け取れる生命保険または特約であり、生活習慣病（成人病）特約、損害保険は含まれない。

(3) 特定疾病保障保険・特定疾病保障特約

ガン、急性心筋梗塞、脳卒中の3大疾病により所定の状態になったとき、生前に死亡保険金と同額の特定疾病保険金が受け取れる生命保険または特約であり、損害保険は含まれない。

(4) 先進医療特約

所定の先進医療による療養を受けたときに、給付金や一時金が受け取れる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない。

(5) 特定損傷特約

不慮の事故により、骨折、関節脱臼、腱の断裂の治療をしたとき、給付金が受け取れる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない。

(6) 疾病障害特約・重度慢性疾患保障特約

以下のような身体に所定の症状あるいは状態が生じた場合などに、一時金で給付を受けられる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない。

- ・心臓ペースメーカー、人工透析、人工肛門などの所定の治療を受けた場合
- ・高血圧症、糖尿病、慢性腎不全、肝硬変などの特定の慢性病により所定の症状と診断された場合
- ・視力、聴力、言語・そしゃくなど所定の機能障害が生じた場合

(7) 認知症保険・認知症特約

所定の認知症になったときに、一時金や年金が受け取れるものであり、寝たきり等の認知症以外で介護の必要な状態となり、その状態が一定期間継続したときに一時金や年金が受け取れる「介護保険（介護特約）」は含まれない。

(8) 介護保険・介護特約

寝たきりや認知症によって介護が必要な状態となり、その状態が一定期間継続したときに、一時金や年金などが受け取れる生命保険または特約であり、損害保険は含まれない。

(9) 通院特約

疾病・災害入院給付金の支払事由に該当する入院をし、退院後所定の期間内にその治療を目的として通院したときに、通院日数分の給付金が受け取れる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない。

(10) 生活障害・就業不能保障保険、生活障害・就業不能保障特約

病気・介護・障害など、所定の就業不能状態となったときに一時金や年金が受け取れる生命保険または特約であり、損害保険は含まれない。

(11) 健康増進型保険・健康増進型特約の加入率

健康増進にかかる取組により、「保険料」への影響がある（キャッシュバック等があるものを含む）生命保険または特約であり、損害保険は含まれない。

(1) 医療保険・医療特約の加入率

民保加入世帯（かんぽ生命を除く）における医療保険・医療特約の世帯加入率は 95.1%（前回 93.6%）となっている。

世帯員別にみると、世帯主は 90.0%（前回 88.7%）、配偶者は 69.8%（前回 65.8%）となっている。

前回と比較すると、世帯全体で 1.5 ポイント、配偶者で 4.0 ポイント増加している。（図表 I-91）

〈図表 I-91〉 医療保険・医療特約の加入率（民保加入世帯ベース）

(%)

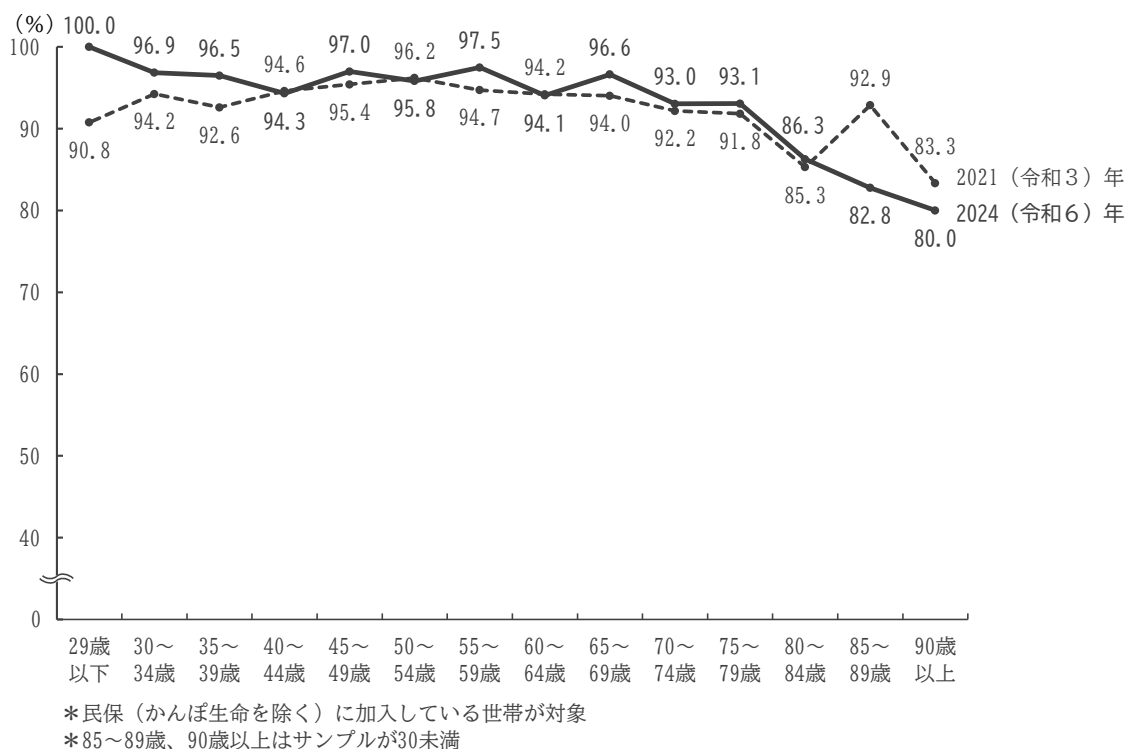
	世帯	世帯主	配偶者
2024 (令和6)年	95.1	90.0	69.8
2021 (令和3)年	93.6	88.7	65.8
2018 (平成30)年	88.5	82.5	68.2
2015 (平成27)年	91.7	85.1	69.6
2012 (平成24)年	92.4	85.2	70.8

*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象

*病気やケガで入院したり所定の手術を受けたときに給付金が受け取れる生命保険、あるいは特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

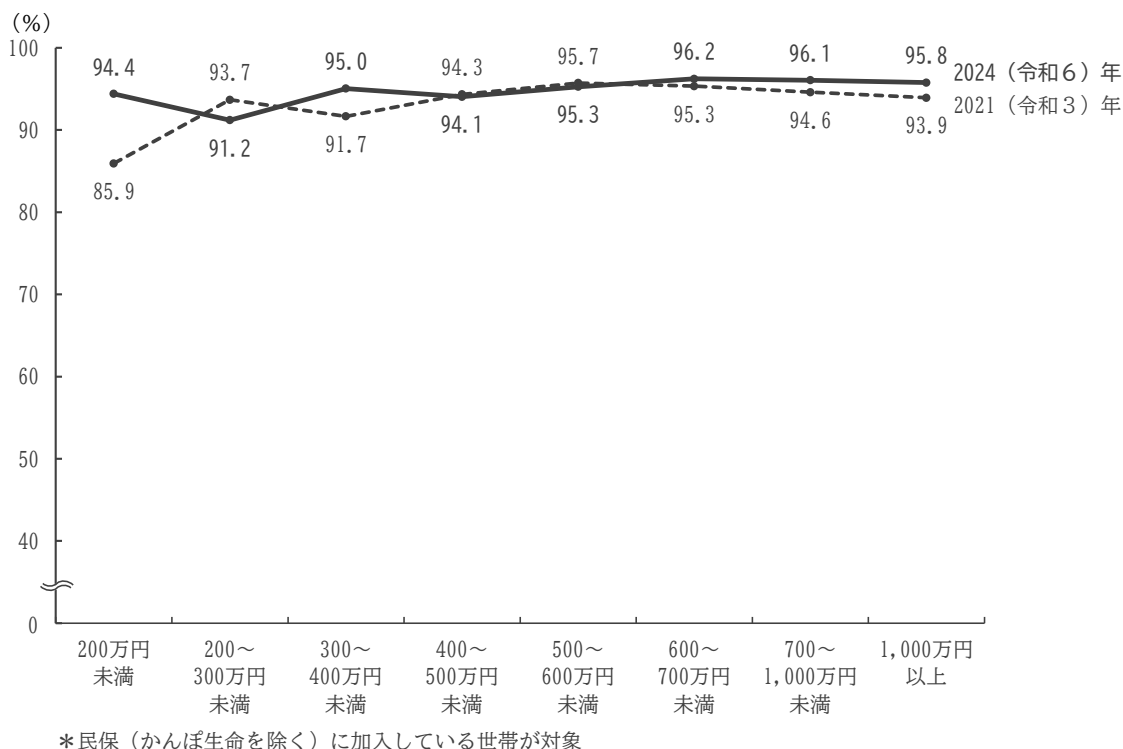
医療保険・医療特約の世帯加入率を世帯主年齢別にみると、「29歳以下」から「75～79歳」で9割を超えている。(図表 I-92)

〈図表 I-92〉医療保険・医療特約の加入率(世帯主年齢別)(民保加入世帯ベース)



医療保険・医療特約の世帯加入率を世帯年収別にみると、すべての層で9割を超えている。(図表 I-93)

〈図表 I-93〉医療保険・医療特約の加入率(世帯年収別)(民保加入世帯ベース)



(2) ガン保険・ガン特約の加入率、入院給付金日額

民保加入世帯（かんぽ生命を除く）におけるガン保険・ガン特約の世帯加入率は68.2%（前回66.7%）となっている。

世帯員別にみると、世帯主は60.7%（前回60.1%）、配偶者は46.5%（前回43.6%）となっている。

前回と比較すると、配偶者で2.9ポイント増加している。（図表I-94）

〈図表I-94〉ガン保険・ガン特約の加入率（民保加入世帯ベース）

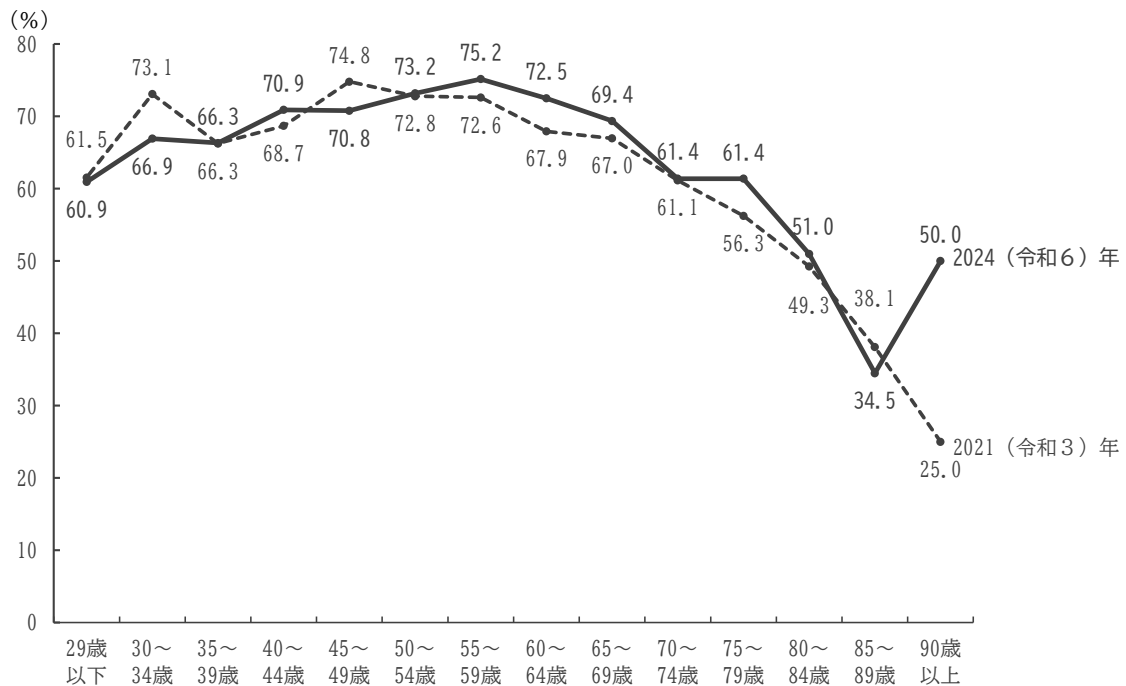
	（%）		
	世帯	世帯主	配偶者
2024 （令和6）年	68.2	60.7	46.5
2021 （令和3）年	66.7	60.1	43.6
2018 （平成30）年	62.8	55.3	43.5
2015 （平成27）年	60.7	53.4	40.2
2012 （平成24）年	62.3	54.5	41.5

*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象

*ガンで入院したときに入院給付金が受け取れる生命保険、あるいは特約が付加された生命保険であり、生活習慣病（成人病）特約、損害保険は含まれない

ガン保険・ガン特約の世帯加入率を世帯主年齢別にみると、「40～44歳」から「60～64歳」で7割を超えている。（図表I-95）

〈図表I-95〉ガン保険・ガン特約の加入率（世帯主年齢別）（民保加入世帯ベース）

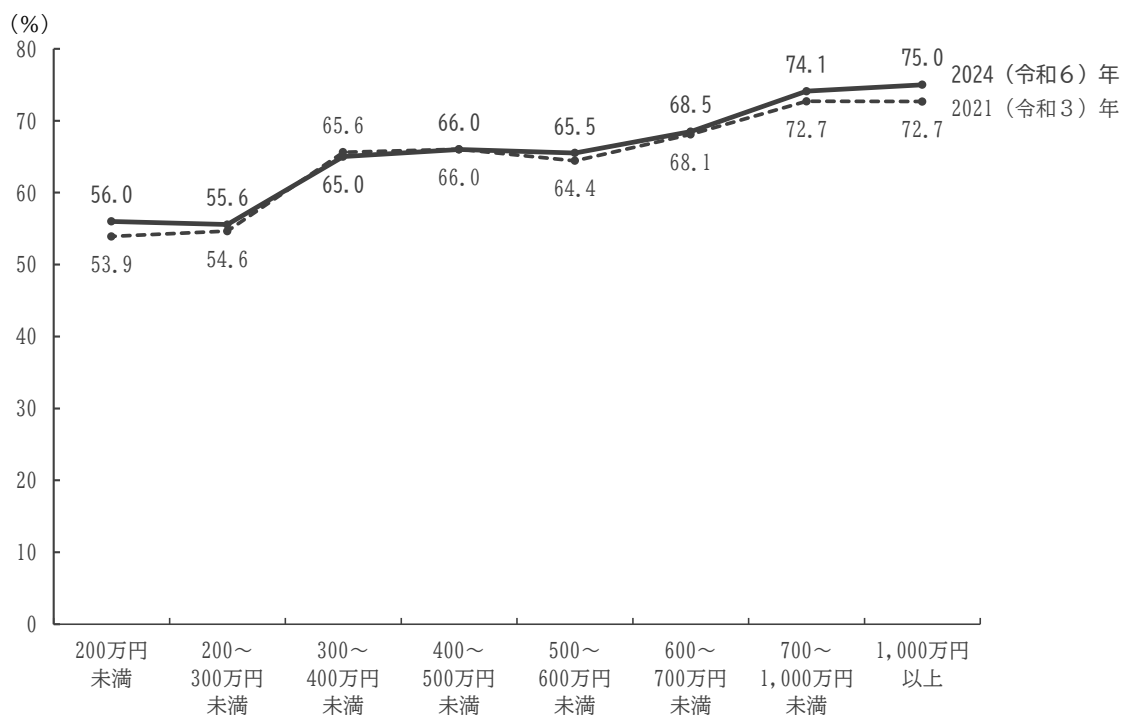


*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象

*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

ガン保険・ガン特約の世帯加入率を世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高くなるほど加入率が高く、「700万円以上」の層では7割を超えている。(図表 I-96)

〈図表 I-96〉ガン保険・ガン特約の加入率(世帯年収別)(民保加入世帯ベース)

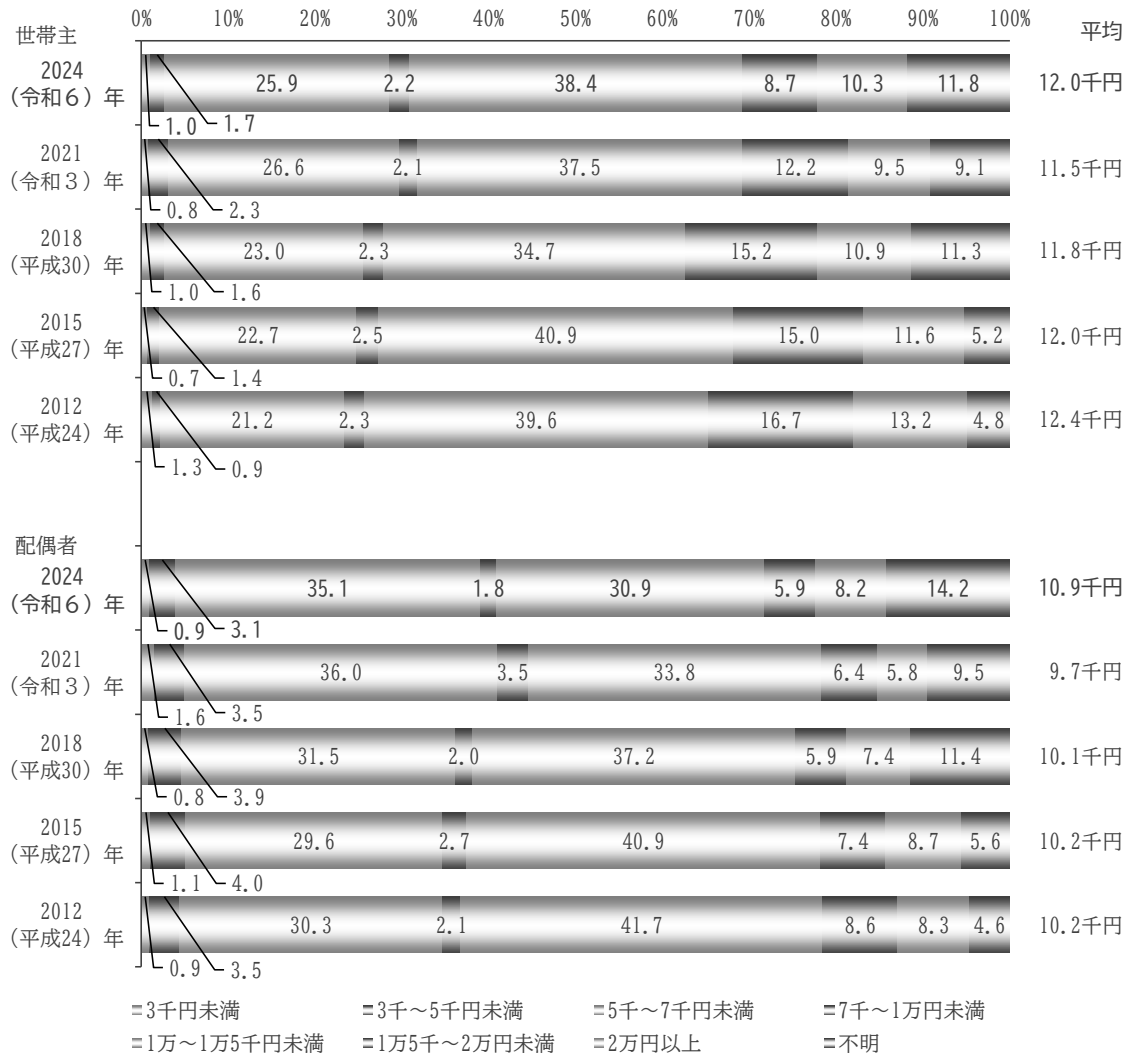


*民保(かんぽ生命を除く)に加入している世帯が対象

世帯主のガン保険・ガン特約の入院給付金日額の平均額は12.0千円（前回11.5千円）、配偶者は10.9千円（前回9.7千円）となっている。分布をみると、世帯主では「1万～1万5千円未満」が38.4%（前回37.5%）、配偶者では「5千～7千円未満」の割合が35.1%（前回36.0%）と最も多くなっている。

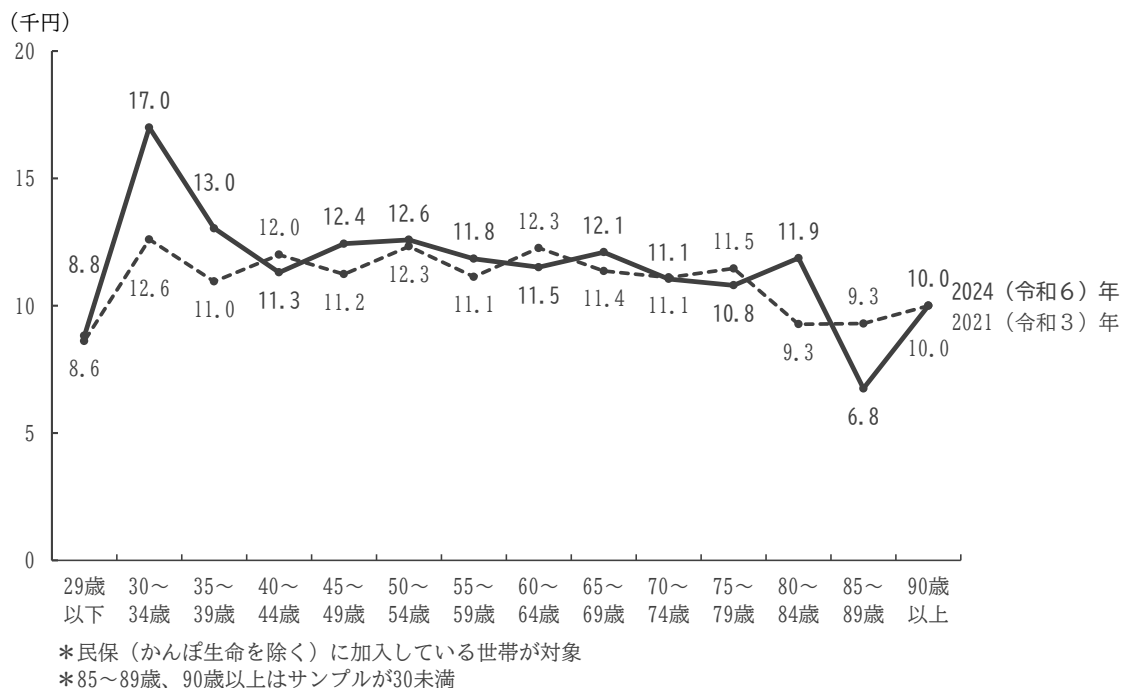
前回と比較すると、配偶者で「2万円以上」が2.4ポイント増加し、世帯主で「1万5千円～2万円未満」が3.5ポイント減少している。（図表I-97）

〈図表I-97〉ガン保険・ガン特約の入院給付金日額



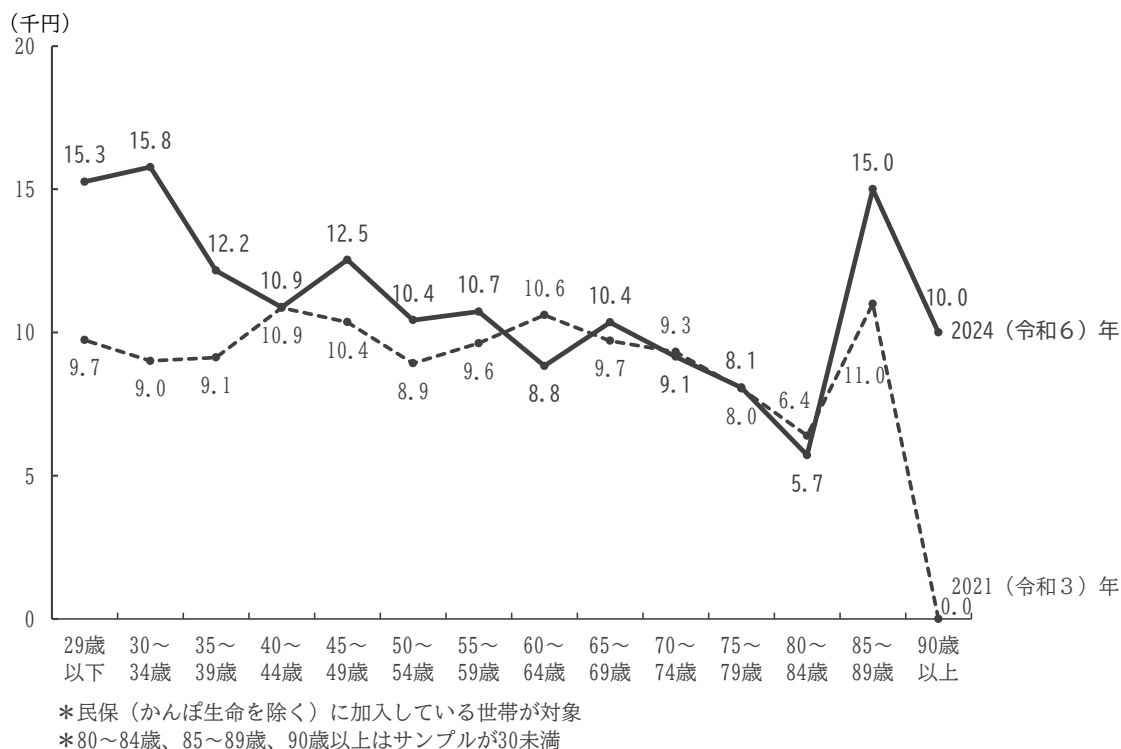
世帯主のガン保険・ガン特約の入院給付金日額を世帯主年齢別にみると、「30～34 歳」で最も高く、17.0 千円となっている。(図表 I-98)

〈図表 I-98〉 世帯主のガン保険・ガン特約の入院給付金日額（世帯主年齢別）



配偶者のガン保険・ガン特約の入院給付金日額を配偶者年齢別にみると、「30～34 歳」で最も高く、15.8 千円となっている。(図表 I-99)

〈図表 I-99〉 配偶者のガン保険・ガン特約の入院給付金日額（配偶者年齢別）



(3) 特定疾病保障保険・特定疾病保障特約の加入率

民保加入世帯（かんぽ生命を除く）における特定疾病保障保険・特定疾病保障特約の世帯加入率は50.4%（前回48.4%）となっている。

世帯員別にみると、世帯主は45.7%（前回43.2%）、配偶者は30.4%（前回27.8%）となっている。

前回と比較すると、配偶者で2.6ポイント増加している。（図表 I-100）

〈図表 I-100〉 特定疾病保障保険・特定疾病保障特約の加入率（民保加入世帯ベース）

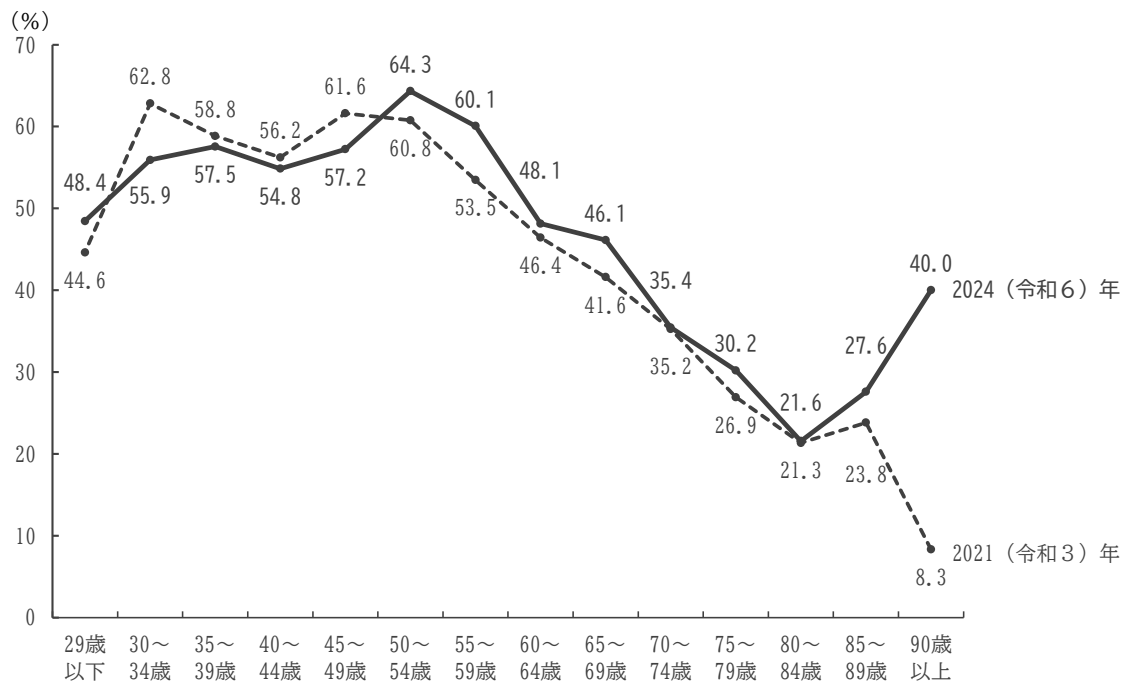
	（%）		
	世帯	世帯主	配偶者
2024 （令和6）年	50.4	45.7	30.4
2021 （令和3）年	48.4	43.2	27.8
2018 （平成30）年	39.6	34.2	23.8
2015 （平成27）年	44.0	38.7	25.7
2012 （平成24）年	43.4	37.6	25.4

* 民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象
 * ガン、急性心筋梗塞、脳卒中の3大疾病により所定の状態になったとき、生前に死亡保険金と同額の特定疾病保険金が受け取れる生命保険、あるいは特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

特定疾病保障保険・特定疾病保障特約の世帯加入率を世帯主年齢別にみると、「50～54歳」および「55～59歳」で6割を超えており、「50～54歳」では64.3%と最も高くなっている。

（図表 I-101）

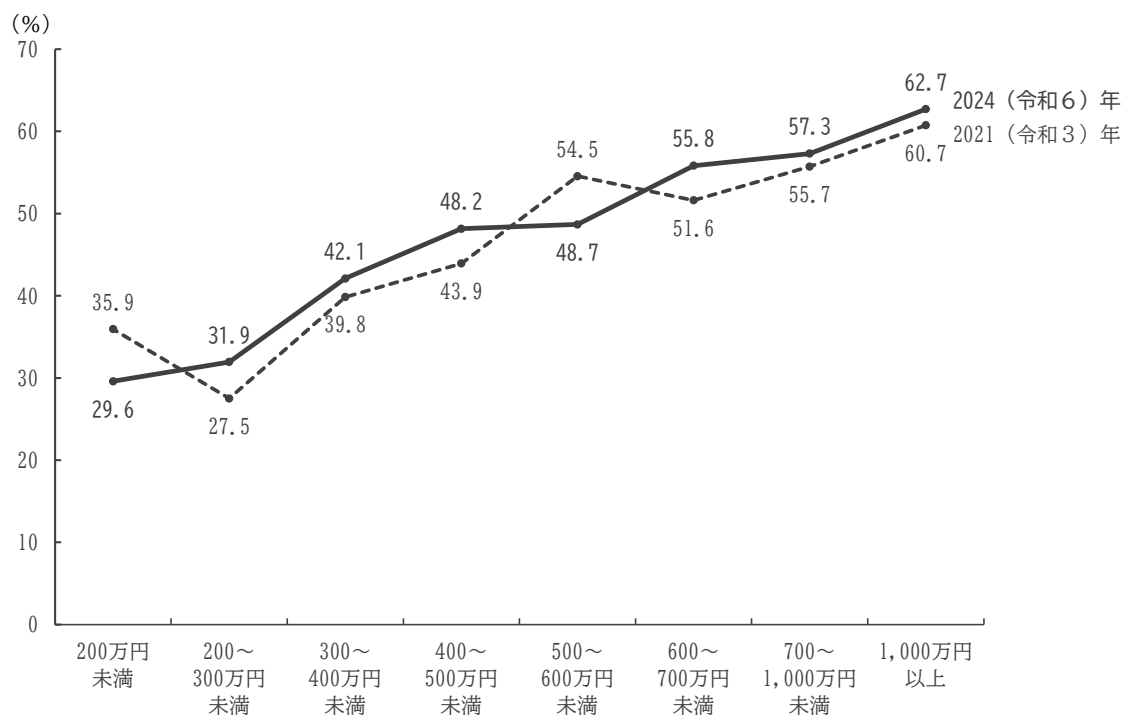
〈図表 I-101〉 特定疾病保障保険・特定疾病保障特約の加入率（世帯主年齢別）
（民保加入世帯ベース）



* 民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象
 * 85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

特定疾病保障保険・特定疾病保障特約の世帯加入率を世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高くなるほど加入率が高く、「1,000万円以上」では62.7%となっている。(図表I-102)

〈図表I-102〉特定疾病保障保険・特定疾病保障特約の加入率（世帯年収別）
（民保加入世帯ベース）



*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象

(4) 先進医療特約の加入率

民保加入世帯（かんぽ生命を除く）における先進医療特約の世帯加入率は54.0%となっている。

世帯員別にみると、世帯主は48.3%、配偶者は35.1%となっている。(図表I-103)

〈図表I-103〉先進医療特約の加入率（民保加入世帯ベース）

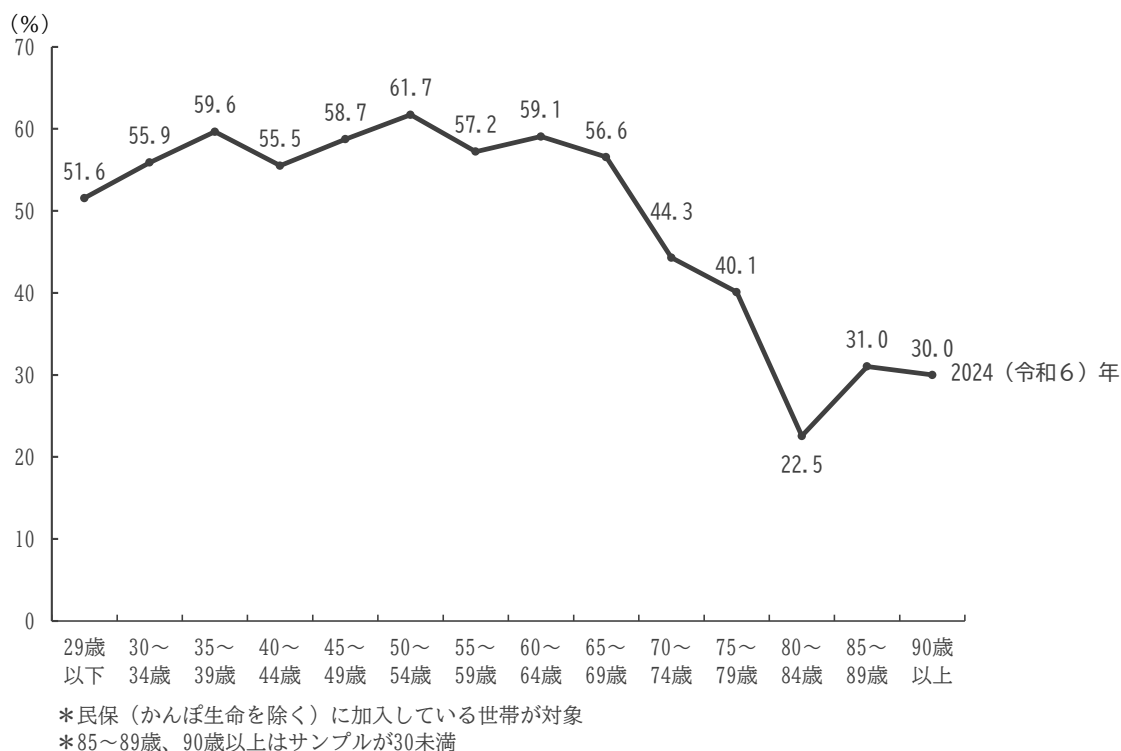
	加入率 (%)		
	世帯	世帯主	配偶者
2024 (令和6)年	54.0	48.3	35.1

*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象

*所定の先進医療による療養を受けたときに、給付金や一時金を受け取れる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

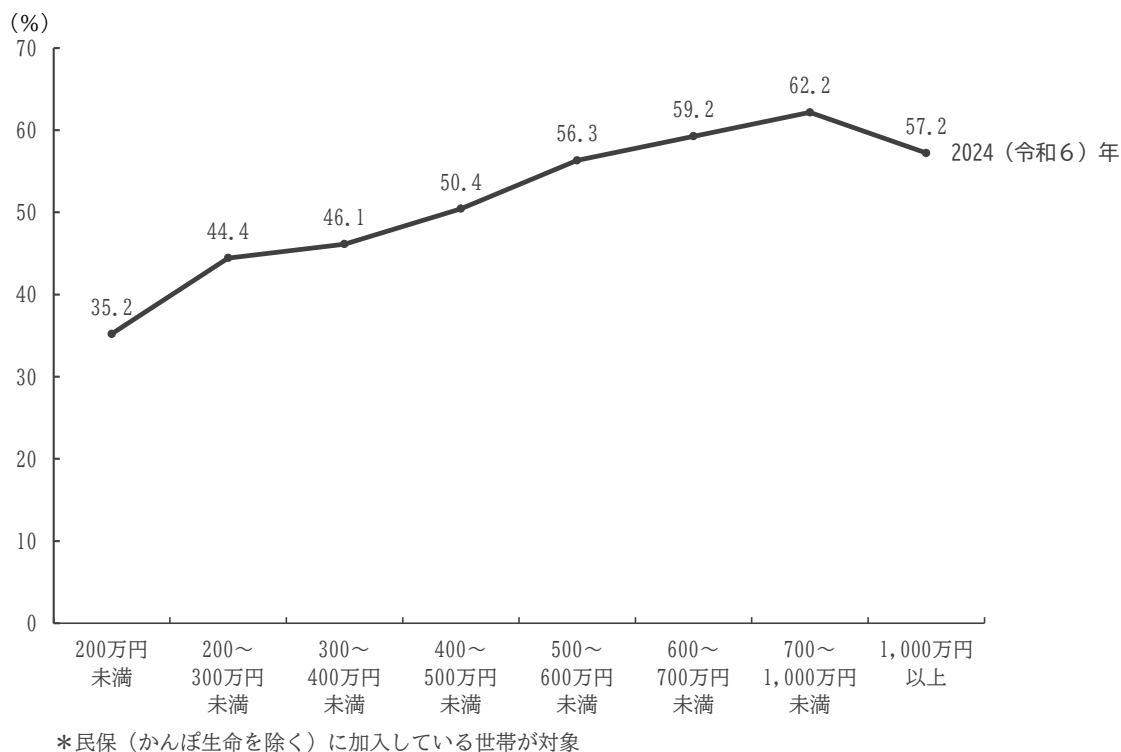
先進医療特約の世帯加入率を世帯主年齢別にみると、「50～54歳」で61.7%と最も高くなっている。（図表 I-104）

〈図表 I-104〉 先進医療特約の加入率（世帯主年齢別）（民保加入世帯ベース）



先進医療特約の世帯加入率を世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高くなるほど加入率が高く、「700～1,000万円未満」では6割を超えている。（図表 I-105）

〈図表 I-105〉 先進医療特約の加入率（世帯年収別）（民保加入世帯ベース）



(5) 特定損傷特約の加入率

民保加入世帯（かんぽ生命を除く）における特定損傷特約の世帯加入率は24.7%（前回28.8%）となっている。

世帯員別にみると、世帯主は21.1%（前回25.0%）、配偶者は13.4%（前回16.2%）となっている。

前回と比較すると、世帯全体で4.1ポイント、世帯主で3.9ポイント、配偶者で2.8ポイント、それぞれ減少している。（図表 I-106）

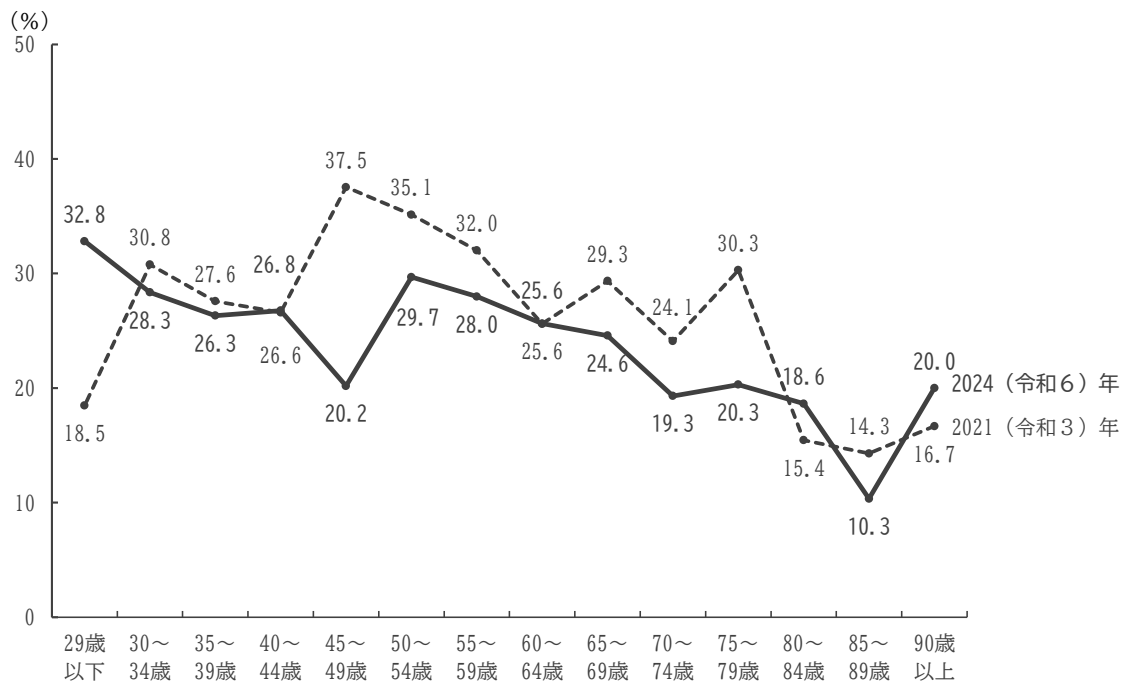
〈図表 I-106〉 特定損傷特約の加入率（民保加入世帯ベース）

	（%）		
	世帯	世帯主	配偶者
2024 （令和6）年	24.7	21.1	13.4
2021 （令和3）年	28.8	25.0	16.2
2018 （平成30）年	22.8	19.1	13.5
2015 （平成27）年	28.0	22.8	16.0
2012 （平成24）年	29.3	24.5	17.3

*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象
 *不慮の事故により、骨折、関節脱臼、腱の断裂の治療をしたとき、給付金が受け取れる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

特定損傷特約の世帯加入率を世帯主年齢別にみると、「29歳以下」で32.8%と最も高くなっている。（図表 I-107）

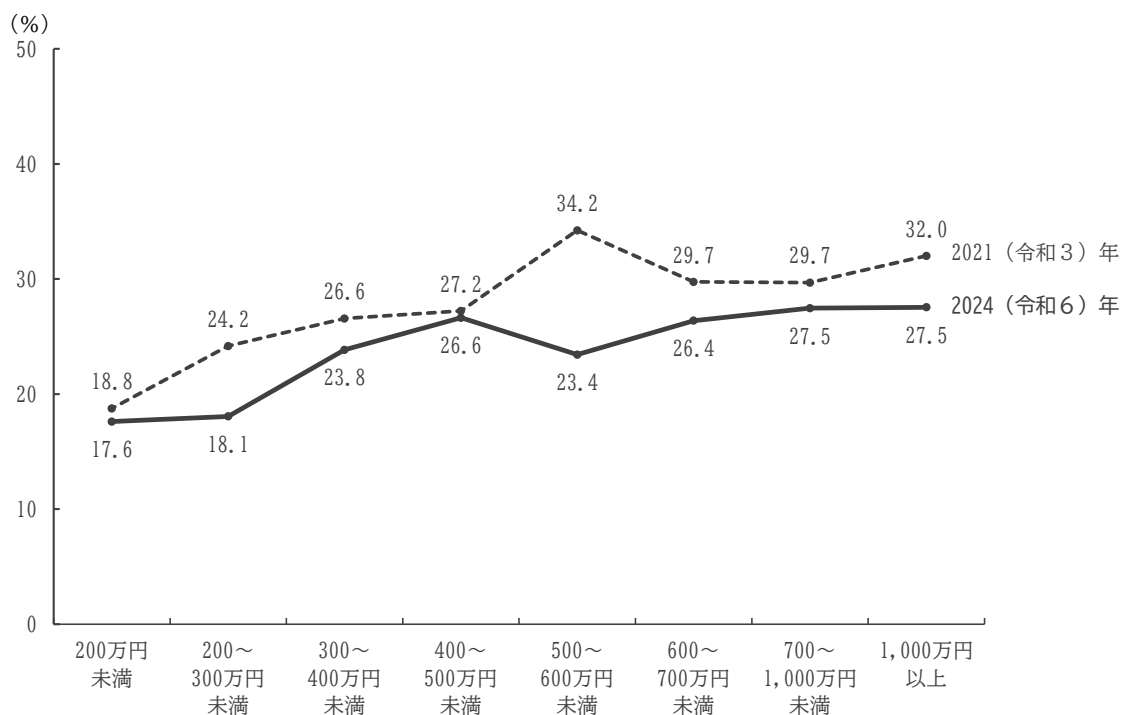
〈図表 I-107〉 特定損傷特約の加入率（世帯主年齢別）（民保加入世帯ベース）



*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象
 *85~89歳、90歳以上はサンプルが30未満

特定損傷特約の世帯加入率を世帯年収別にみると、「700万円～1,000万円未満」および「1,000万円以上」でそれぞれ27.5%と最も高くなっている。(図表 I-108)

〈図表 I-108〉 特定損傷特約の加入率（世帯年収別）（民保加入世帯ベース）



*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象

(6) 疾病障害特約・重度慢性疾患保障特約の加入率

民保加入世帯（かんぽ生命を除く）における疾病障害特約・重度慢性疾患保障特約の世帯加入率は15.1%（前回15.9%）となっている。

世帯員別にみると、世帯主は13.2%（前回14.1%）、配偶者は8.2%（前回8.6%）となっている。

前回と比較すると、大きな差異はみられなかった。(図表 I-109)

〈図表 I-109〉 疾病障害特約・重度慢性疾患保障特約の加入率（民保加入世帯ベース）

	加入率 (%)		
	世帯	世帯主	配偶者
2024 (令和6)年	15.1	13.2	8.2
2021 (令和3)年	15.9	14.1	8.6
2018 (平成30)年	12.4	10.5	7.2
2015 (平成27)年	16.4	13.7	8.8
2012 (平成24)年	17.9	15.4	9.9

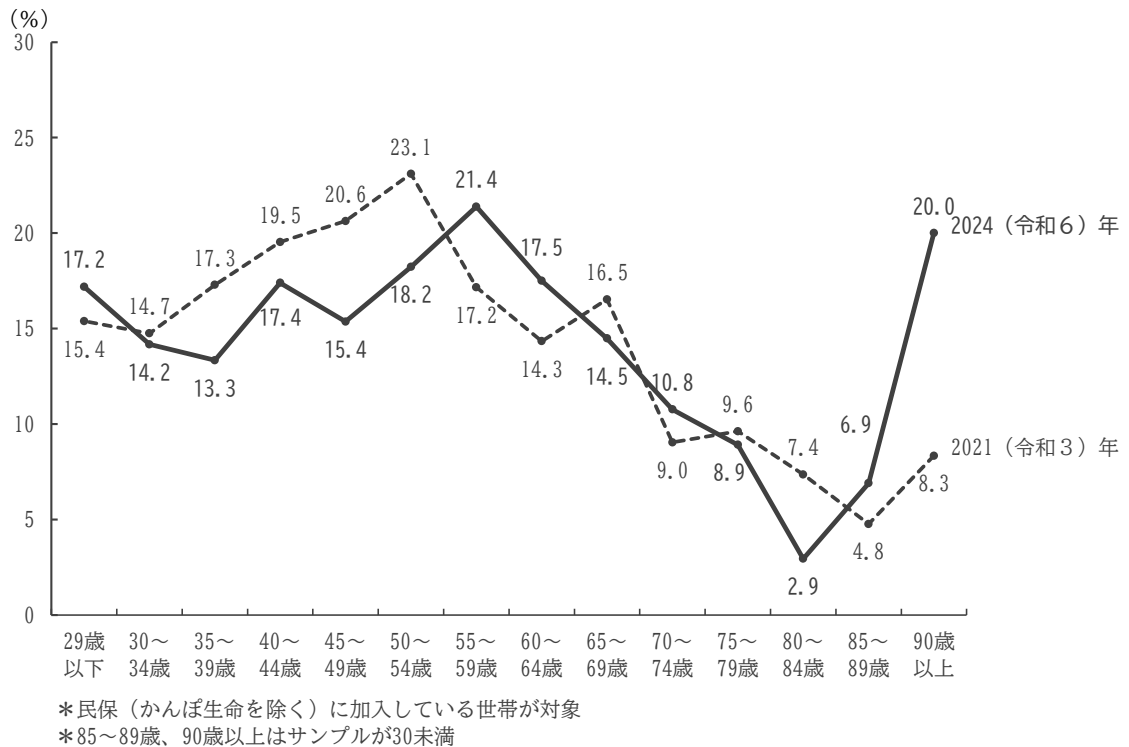
*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象

*以下のような身体に所定の症状あるいは状態が生じた場合などに、一時金で給付を受けられる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

- ・心臓ペースメーカー、人工透析、人工肛門などの所定の治療を受けた場合
- ・高血圧症、糖尿病、慢性腎不全、肝硬変などの特定の慢性病により所定の症状と診断された場合
- ・視力、聴力、言語、そしゃくなどの所定の機能障害が生じた場合

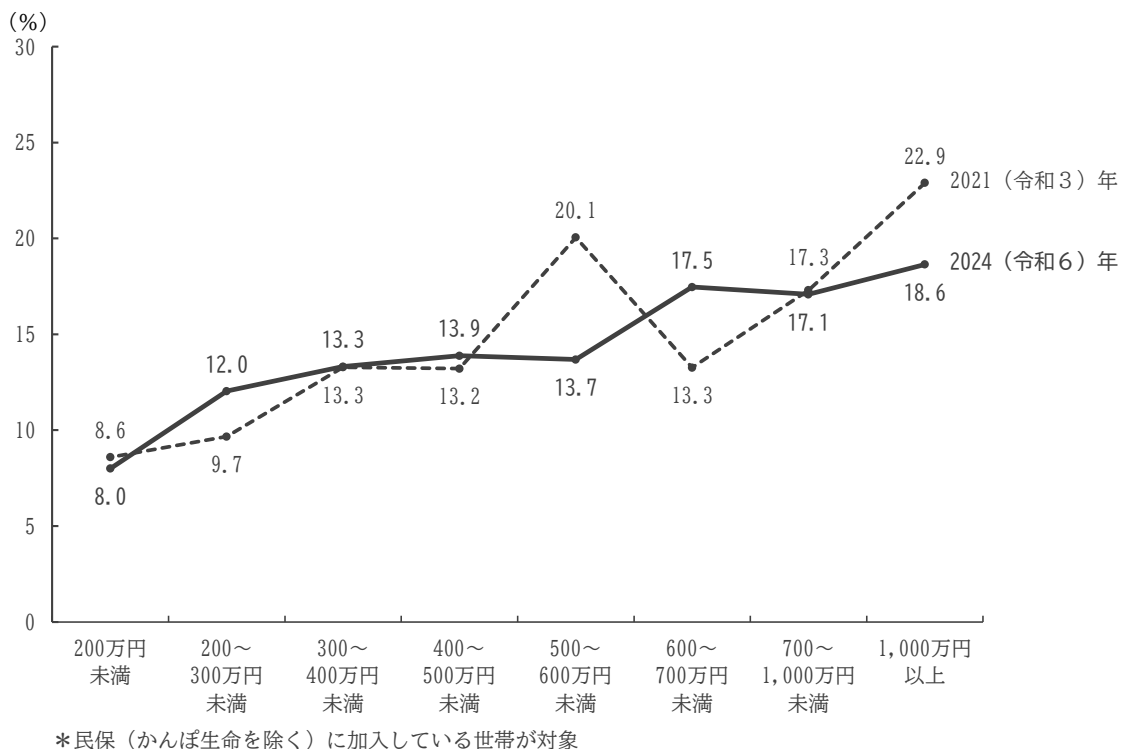
疾病障害特約・重度慢性疾患保障特約の世帯加入率を世帯主年齢別にみると、「55～59歳」で21.4%と最も高くなっている。(図表 I-110)

〈図表 I-110〉 疾病障害特約・重度慢性疾患保障特約の加入率（世帯主年齢別）
（民保加入世帯ベース）



疾病障害特約・重度慢性疾患保障特約の世帯加入率を世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高くなるほど加入率が高く、「1,000万円以上」では18.6%となっている。(図表 I-111)

〈図表 I-111〉 疾病障害特約・重度慢性疾患保障特約の加入率（世帯年収別）
（民保加入世帯ベース）



(7) 認知症保険・認知症特約の加入率

民保加入世帯（かんぽ生命を除く）における認知症保険・認知症特約の世帯加入率は7.6%（前回6.6%）となっている。

世帯員別にみると、世帯主は6.0%（前回5.2%）、配偶者は4.0%（前回3.3%）となっている。

前回と比較すると、大きな差異はみられなかった。（図表 I -112）

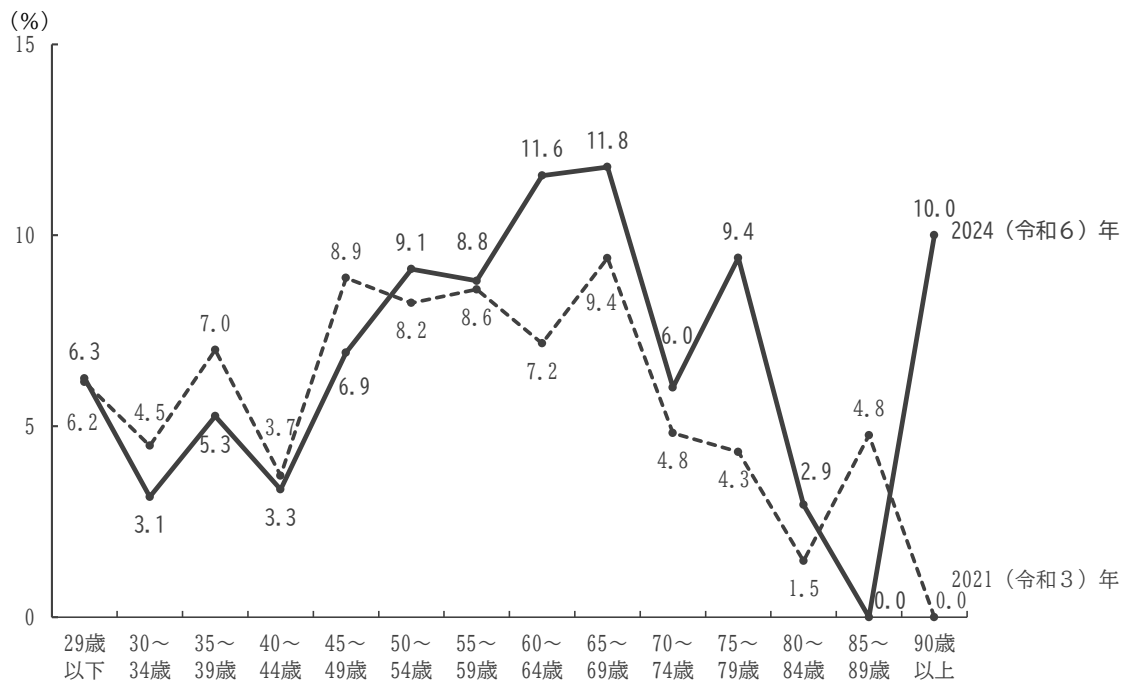
〈図表 I -112〉 認知症保険・認知症特約の加入率（民保加入世帯ベース）

	（%）		
	世帯	世帯主	配偶者
2024 （令和6）年	7.6	6.0	4.0
2021 （令和3）年	6.6	5.2	3.3

* 民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象
 * 所定の認知症になったときに、一時金や年金が受け取れるものであり、寝たきり等の認知症以外で介護の必要な状態となり、その状態が一定期間継続したときに一時金や年金が受け取れる「介護保険（介護特約）」は含まれない

認知症保険・認知症特約の世帯加入率を世帯主年齢別にみると、「60～64歳」および「65～69歳」で1割を超えている。（図表 I -113）

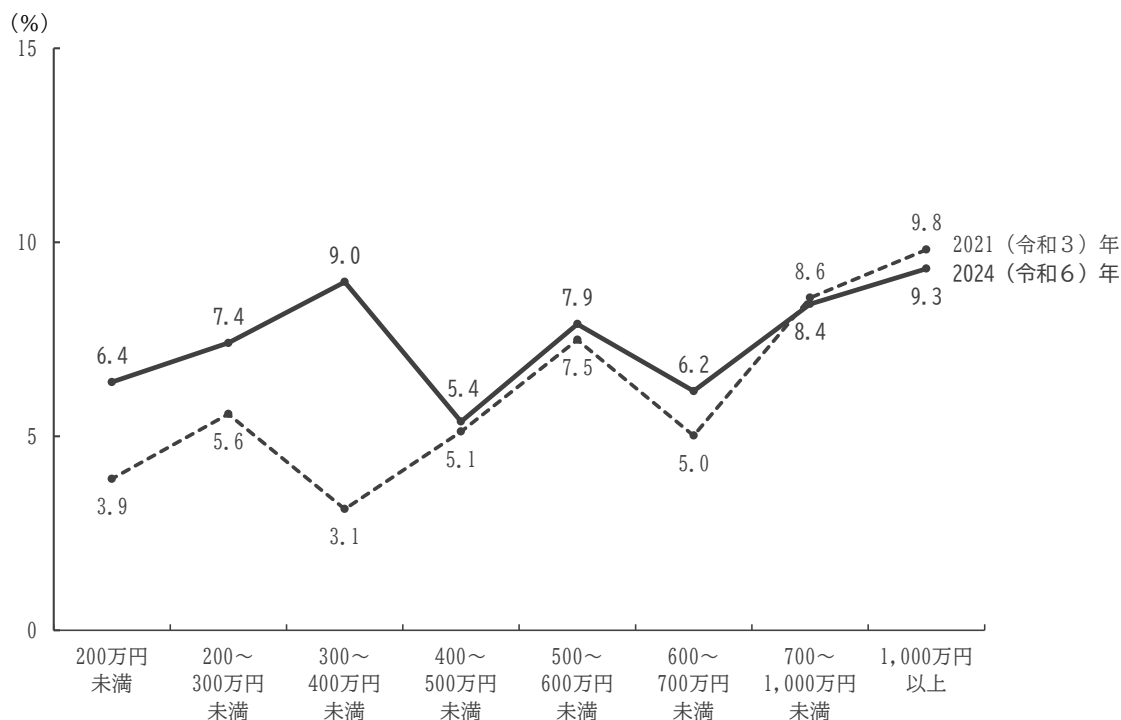
〈図表 I -113〉 認知症保険・認知症特約の加入率（世帯主年齢別）（民保加入世帯ベース）



* 民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象
 * 85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

認知症保険・認知症特約の世帯加入率を世帯年収別にみると、「1,000万円以上」で9.3%と最も高くなっている。(図表 I-114)

〈図表 I-114〉 認知症保険・認知症特約の加入率（世帯年収別）（民保加入世帯ベース）



* 民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象

(8) 介護保険・介護特約の加入率、介護給付金月額

民保加入世帯（かんぽ生命を除く）における介護保険・介護特約の世帯加入率は20.1%（前回16.7%）と前回に比べ3.4ポイント増加している。

世帯員別にみると、世帯主は16.8%（前回13.6%）、配偶者は11.0%（前回8.5%）となっており、前回に比べ世帯主で3.2ポイント、配偶者で2.5ポイント増加している。(図表 I-115)

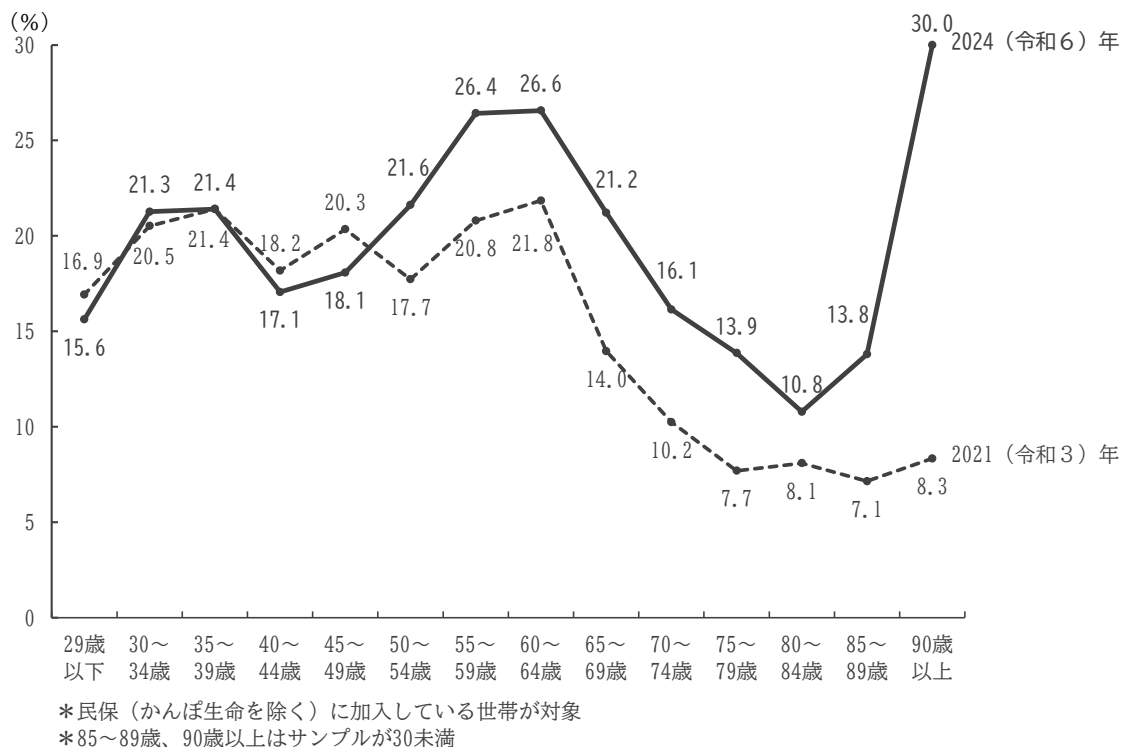
〈図表 I-115〉 介護保険・介護特約の加入率（民保加入世帯ベース）

	(%)		
	世帯	世帯主	配偶者
2024 (令和6)年	20.1	16.8	11.0
2021 (令和3)年	16.7	13.6	8.5
2018 (平成30)年	14.1	10.5	7.8
2015 (平成27)年	15.3	11.8	7.9
2012 (平成24)年	14.2	10.8	7.6

* 民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象
 * 寝たきりや認知症によって介護が必要な状態になり、その状態が一定の期間継続したときに、一時金や年金などが受け取れる生命保険、あるいは特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

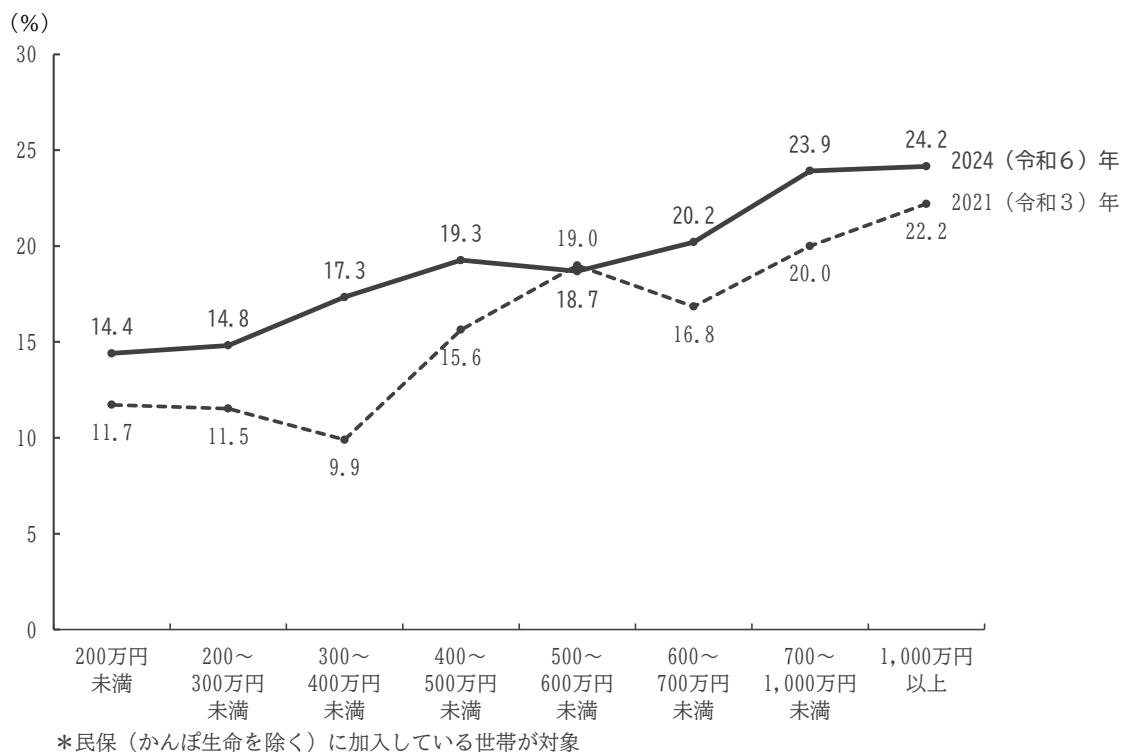
介護保険・介護特約の世帯加入率を世帯主年齢別にみると、「55～59 歳」および「60～64 歳」で高くなっている。(図表 I-116)

〈図表 I-116〉 介護保険・介護特約の加入率（世帯主年齢別）（民保加入世帯ベース）



介護保険・介護特約の世帯加入率を世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高くなるほど加入率が高く、「600 万円以上」の層では2割を超えている。(図表 I-117)

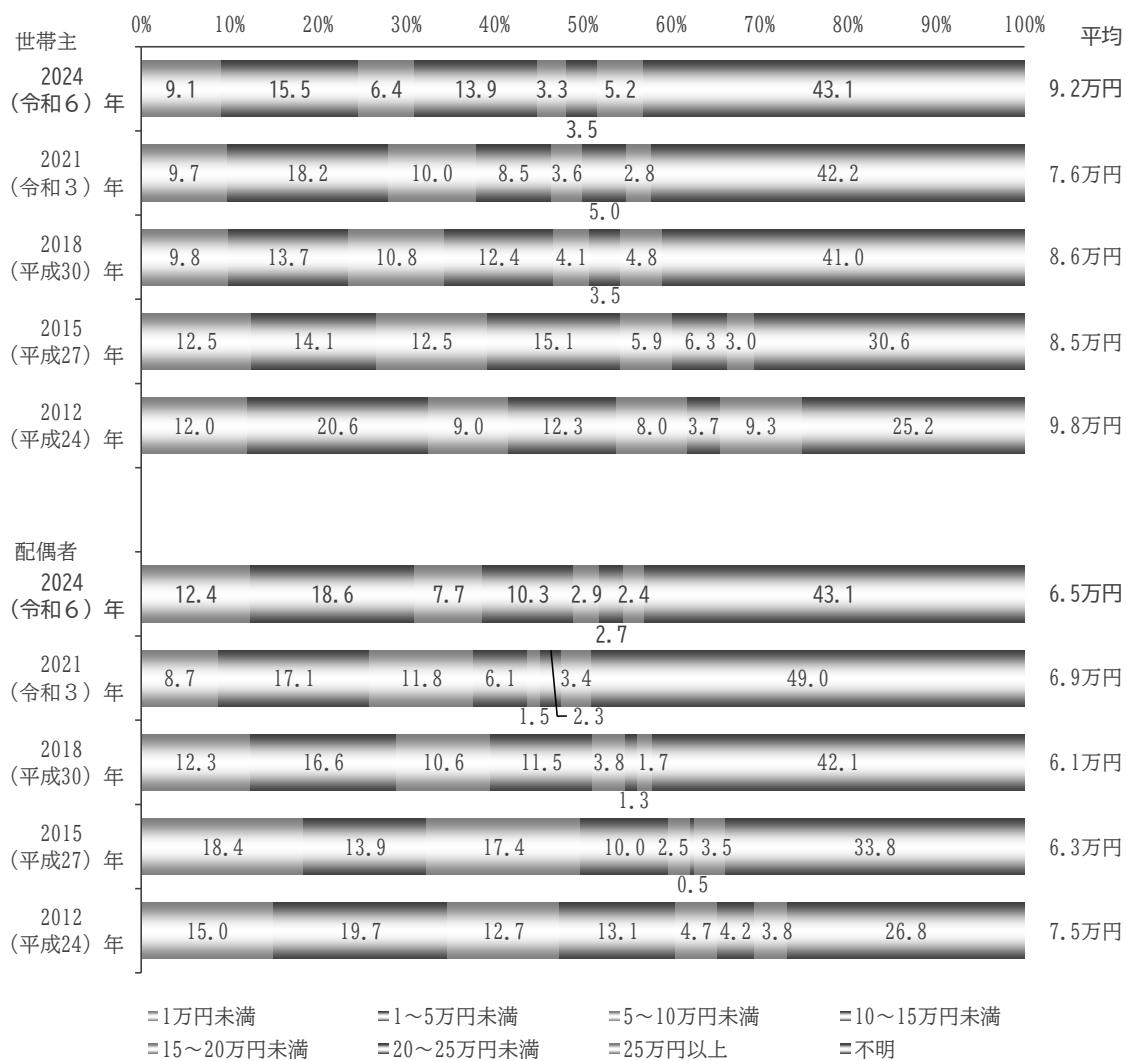
〈図表 I-117〉 介護保険・介護特約の加入率（世帯年収別）（民保加入世帯ベース）



介護保険・介護特約の介護給付金月額平均額は世帯主が9.2万円（前回7.6万円）、配偶者が6.5万円（前回6.9万円）となっている。分布をみると、「1～5万円未満」の割合が世帯主、配偶者ともに最も多く、世帯主で15.5%（前回18.2%）、配偶者で18.6%（前回17.1%）となっている。

前回と比較すると、世帯主で「5～10万円未満」が3.6ポイント減少、「10～15万円未満」が5.4ポイント増加している。（図表I-118）

〈図表I-118〉介護給付金月額



(9) 通院特約の加入率

民保加入世帯(かんぽ生命を除く)における通院特約の世帯加入率は36.9%(前回39.1%)となっている。

世帯員別にみると、世帯主は32.7%(前回34.2%)であり、配偶者は24.0%(前回23.3%)となっている。

前回と比較すると、大きな差異はみられなかった。(図表 I-119)

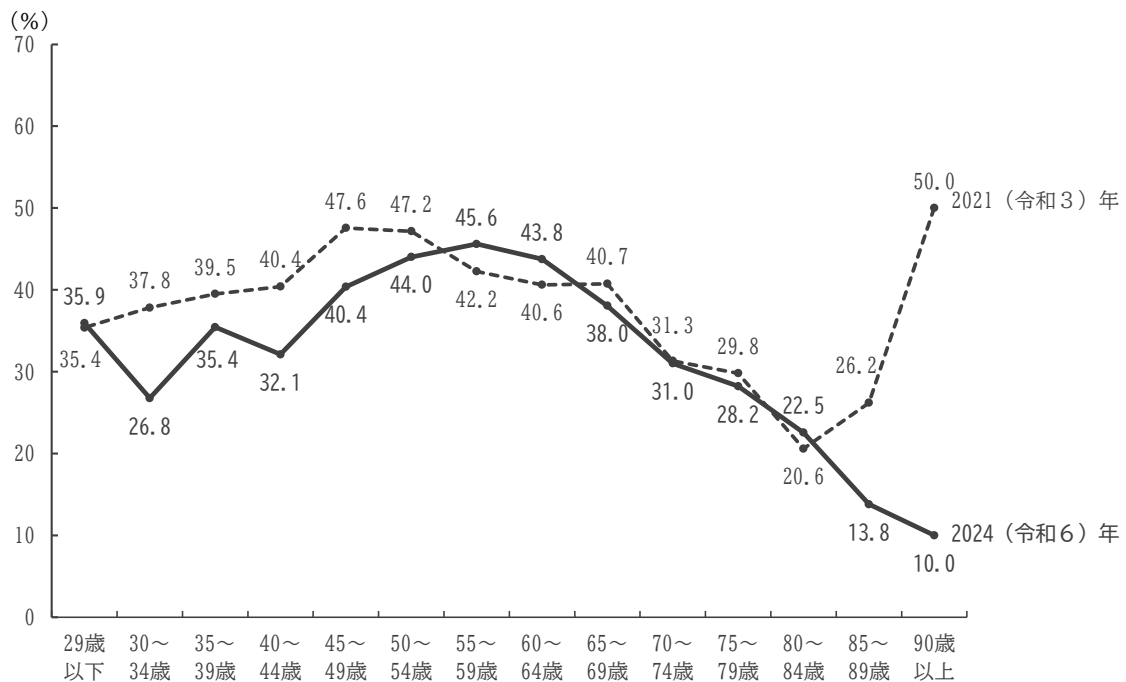
〈図表 I-119〉 通院特約の加入率 (民保加入世帯ベース)

	(%)		
	世帯	世帯主	配偶者
2024 (令和6)年	36.9	32.7	24.0
2021 (令和3)年	39.1	34.2	23.3
2018 (平成30)年	35.0	29.6	23.1
2015 (平成27)年	40.6	35.1	26.3
2012 (平成24)年	43.8	36.9	29.2

* 民保(かんぽ生命を除く)に加入している世帯が対象
 * 疾病・災害入院給付金の支払事由に該当する入院をし、退院後所定の期間内にその治療を目的として通院したときに、通院日数分の給付金を受け取れる特約が付加された生命保険であり、損害保険は含まれない

通院特約の世帯加入率を世帯主年齢別にみると、「45～49歳」から「60～64歳」で4割を超えている。(図表 I-120)

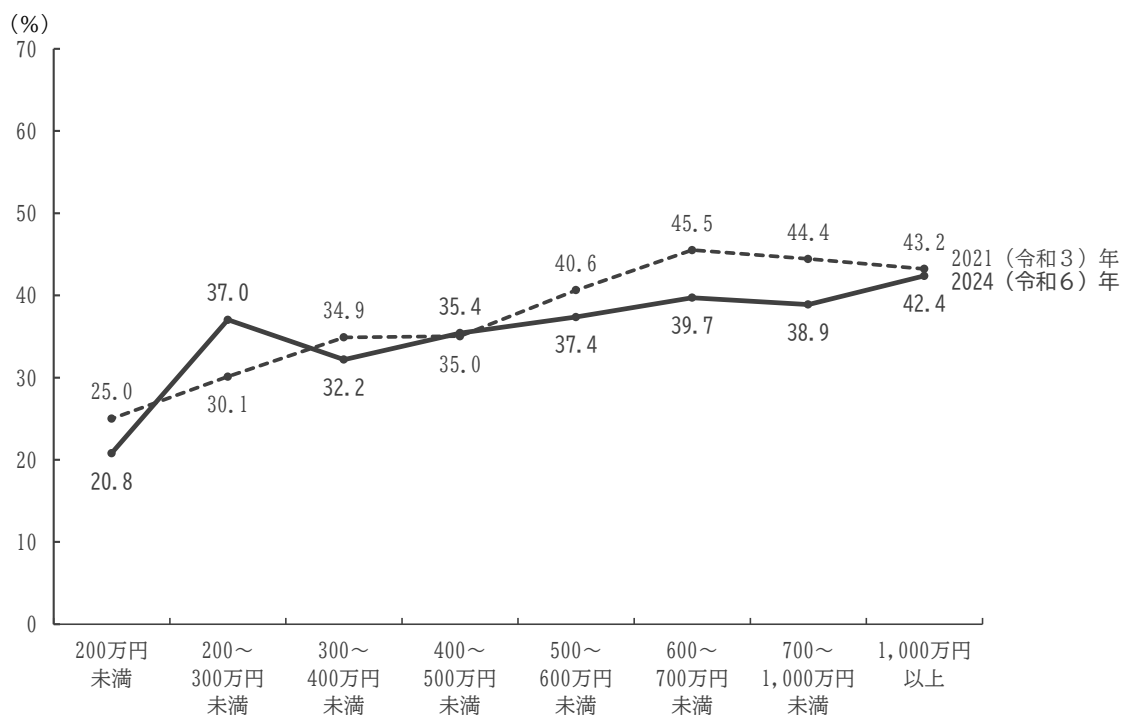
〈図表 I-120〉 通院特約の加入率 (世帯主年齢別) (民保加入世帯ベース)



* 民保(かんぽ生命を除く)に加入している世帯が対象
 * 85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

通院特約の世帯加入率を世帯年収別にみると、「1,000万円以上」で42.4%と最も高くなっている。(図表 I-121)

〈図表 I-121〉通院特約の加入率（世帯年収別）（民保加入世帯ベース）



*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象

(10) 生活障害・就業不能保障保険、生活障害・就業不能保障特約の加入率

民保加入世帯（かんぽ生命を除く）における生活障害・就業不能保障保険、生活障害・就業不能保障特約の世帯加入率は17.2%（前回18.4%）となっている。

世帯員別にみると、世帯主は14.9%（前回15.9%）、配偶者は6.4%（前回6.5%）となっている。

前回と比較すると、大きな差異はみられなかった。(図表 I-122)

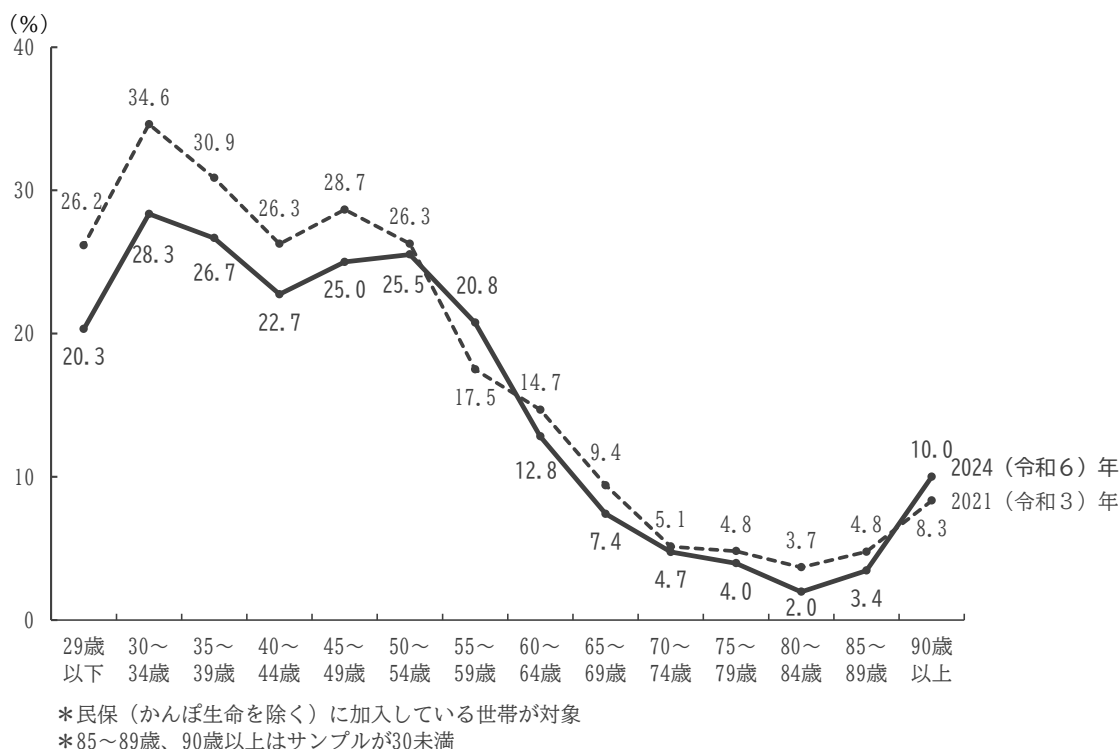
〈図表 I-122〉生活障害・就業不能保障保険、生活障害・就業不能保障特約の加入率（民保加入世帯ベース）

	加入率 (%)		
	世帯	世帯主	配偶者
2024 (令和6)年	17.2	14.9	6.4
2021 (令和3)年	18.4	15.9	6.5
2018 (平成30)年	12.0	10.1	4.5

*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象
*病気・介護・障害など、所定の就業不能状態となったときに一時金や年金が受け取れる生命保険であり、損害保険は含まれない

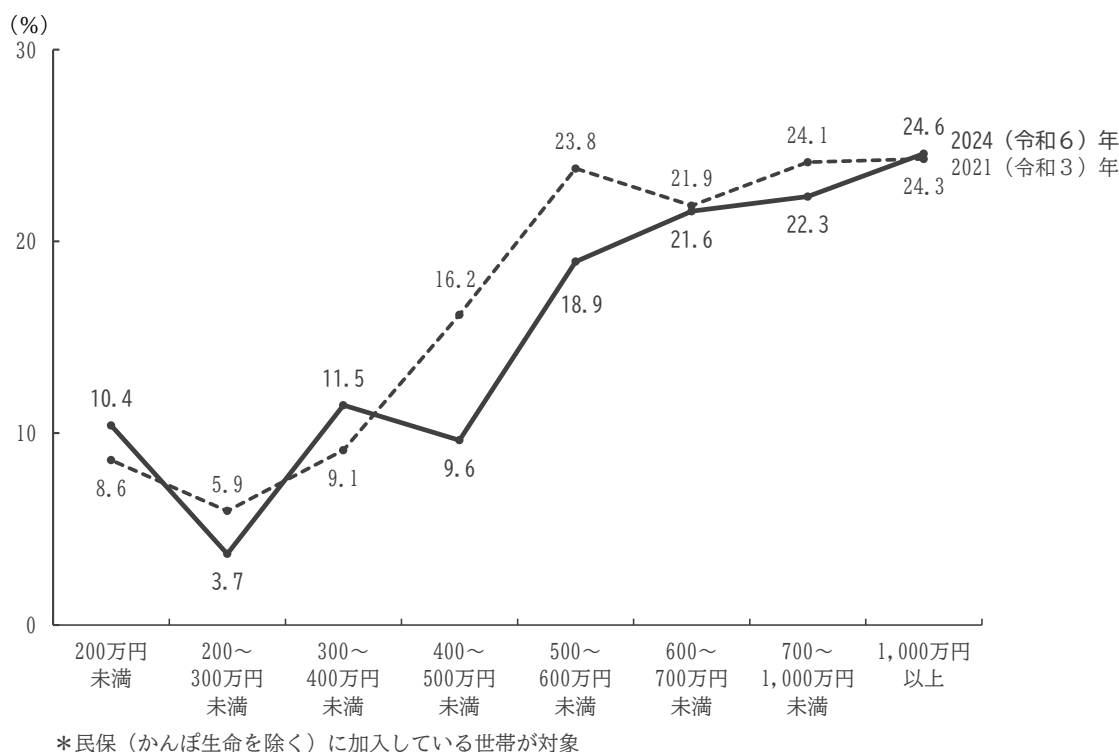
生活障害・就業不能保障保険、生活障害・就業不能保障特約の世帯加入率を世帯主年齢別にみると、「30～34歳」で28.3%と最も高くなっている。(図表 I-123)

〈図表 I-123〉生活障害・就業不能保障保険、生活障害・就業不能保障特約の加入率
(世帯主年齢別) (民保加入世帯ベース)



生活障害・就業不能保障保険、生活障害・就業不能保障特約の世帯加入率を世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高くなるほど加入率が高く、「600万円以上」の層では2割を超えている。(図表 I-124)

〈図表 I-124〉生活障害・就業不能保障保険、生活障害・就業不能保障特約の加入率
(世帯年収別) (民保加入世帯ベース)



(11) 健康増進型保険・健康増進型特約の加入率

民保加入世帯（かんぽ生命を除く）における健康増進型保険・健康増進型特約の世帯加入率は5.6%（前回4.2%）となっており、前回に比べ1.4ポイント増加している。

世帯員別にみると、世帯主は4.3%（前回3.4%）、配偶者は2.9%（前回1.8%）となっており、前回に比べ配偶者で1.1ポイント増加している。（図表 I-125）

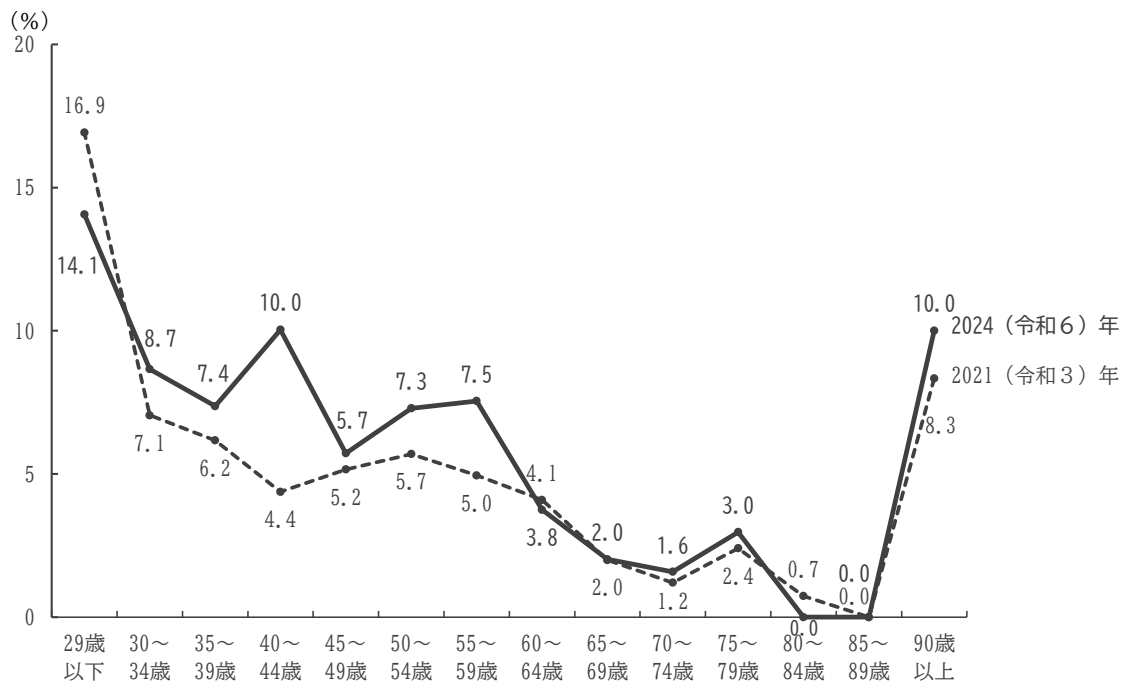
〈図表 I-125〉健康増進型保険・健康増進型特約の加入率（民保加入世帯ベース）

	（%）		
	世帯	世帯主	配偶者
2024 （令和6）年	5.6	4.3	2.9
2021 （令和3）年	4.2	3.4	1.8

*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象
 *健康増進にかかる取組により、「保険料」への影響がある（キャッシュバック等があるものを含む）生命保険であり、損害保険は含まれない

健康増進型保険・健康増進型特約の世帯加入率を世帯主年齢別にみると、「29歳以下」で14.1%と最も高くなっている。（図表 I-126）

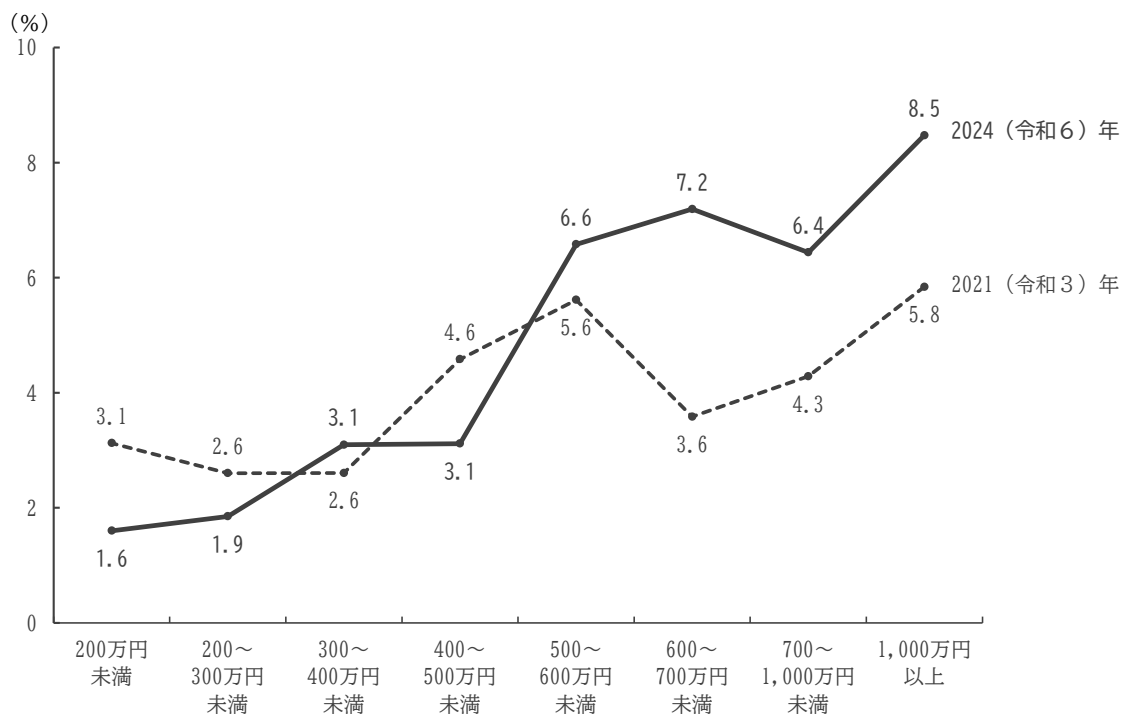
〈図表 I-126〉健康増進型保険・健康増進型特約の加入率（世帯主年齢別）
 （民保加入世帯ベース）



*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象
 *85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

健康増進型保険・健康増進型特約の世帯加入率を世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高くなるほど加入率が高く、「1,000万円以上」では8.5%となっている。(図表 I-127)

〈図表 I-127〉健康増進型保険・健康増進型特約の加入率（世帯年収別）
（民保加入世帯ベース）



*民保（かんぽ生命を除く）に加入している世帯が対象